

平成 17 年 3 月 25 日 記者会見 会頭発言要旨

時事の話題

京都の景気動向について

シンクタンクの調べでは、3 四半期連続で京都の製造業・非製造業は共に緩やかな減速傾向を示しており、今は踊り場に立っている状況。経営者は持てる力を出し切って、全力で経営に当たることに尽きる。今後の景気回復に期待したい。

原油高については、円が強いので、アメリカ・中国より影響は少ないと思う。

ライブドアのニッポン放送株式買収について

今後、株式の時価総額が小さい企業にとって、外国資本による企業買収が起こる可能性が懸念される。各企業は、自社防衛について対策を講じる必要性を感じたのではないかと。政府も法案改正を考えている。

時事の話題

17 年度本所事業計画（案）について

具体的な主要事業項目（案）をとりまとめた。「京都ブランドの推進」、「新産業創出のための産学公連携事業の推進」、「中小企業の振興」の3つを柱とし、会員企業の経営を支援し、迅速丁寧なサービスの提供に努めるための具体的な項目を盛り込んだ。

また、17 部会を 12 部会に再編成し、部会活動を強化するとともに、会員増強と財政基盤の強化をはかる。

記者からの質問事項

三菱自動車の京都移転計画について

2006 年度末までの移転計画が延期になったが、白紙に戻ったわけではない。ぜひ、京都に来ていただいて京都経済の活性化に寄与してほしい。

「京都のバス事業を考える会」について

これまで実のある会合が持たれたと聞いている。順調に動いているのではないかと。公共交通だけでなく、公共サービス全般への民間事業者参入が増えており、今後もこの傾向は続くと思う。

「京都ブランド」事業について

17 年度の事業計画でも中心事業に置いている。秋にブランド憲章を発表し、

3月15日の「京都ブランド創生シンポジウム」では聴講者550人を集めた。滑り出しは好調だと評価している。

愛・地球博（愛知万博）開催について

開催間近になり盛り上がってきた。環境とハイテクがテーマで、関心も高まっている。万博来場者に京都にも立ち寄って頂き、京都の観光業への追い風となることを期待している

以上